土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

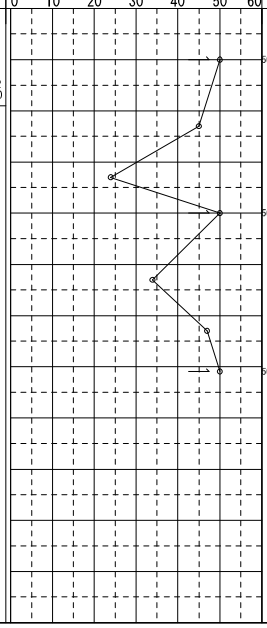
調査名	二級河川三津大川水系蚊無中西谷砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　橋梁・高架

ボーリング名	Bor-2	調査位置	広島県東広島市安芸津町三津	北緯	34° 20' 30.5075"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 4月19日～ 令和3年 4月23日	東経	132° 47' 54.3825"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 89.23m	角度	180°上 90° 0°下 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	15°鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B / エンジン：ヤンマー NFD13 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	88.73	0.50		礫質土		褐灰			未固結の礫質土。	
1				玉石混り砂礫		黄褐灰	rd4		玉石はコア長5～15cm前後で、不均質に混入する。 最大コア長19cm。 岩片非常に硬質を呈する。 礫間の土砂は細粒分を多く含み、強い粘性を帯びる。	4/22 1.90
2										
3	86.23	3.00								
				礫混り粘土質砂		褐	rd3		未固結の礫混り粘土質砂。 細粒分が多く、粘性を帯びる。	
	85.63	3.60								
4				玉石混り砂礫		黄褐灰	rd4		玉石はコア長5～15cm前後で、不均質に混入する。 最大コア長22cm。 岩片非常に硬質を呈する。 礫間の土砂は細粒分を多く含み、強い粘性を帯びる。 深度7m以深、花崗斑岩(軟岩相当)。	
5										
6										
7	82.23	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.00	貫入不能			50 / 0	0	
45	2.15	13	17	15	45 / 300		
24	3.15	4	10	10	24 / 300		
50以上	4.00	貫入不能			50 / 0	0	
34	5.15	13	11	10	34 / 300		
47	6.15	18	13	16	47 / 300		
50以上	7.05	50			50 / 90	90	
	7.14	90					

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				4/20
				4/21
				4/22